

2008 年 12 月 2 日

福山市長 羽田 皓 様

福山駅前水辺公園
代表 三宅国裕



懇談会および専門委員会に対する資料などについて（意見・要望）

先般の懇談会において、当プロジェクトは、水辺公園広場としての機能と国史跡への追加指定、駅前の諸機能を充足させた案を発表いたしました。この案は、福山市の基本レイアウト案に配慮し創られたものですが、無限の価値をもつ外堀遺構の顕在化により、広大な水辺空間のもつ憩いや福山の歴史と文化に根ざした魅力ある持続的な集客力の発揮、周辺不動産価値の向上、アメニティ、防災、環境など様々なメリットがあります。ループバスの利用とトランジットモールの導入により交通機能と広場機能等を両立させ、中心市街地の賑わい創出、歩行環境整備などの市の中心市街地整備目標をも達成しながら、70 億円相当の公園が用地費なしで獲得出来るものです。

また、歴史資源の利活用による独自性あるまちづくり、水系再生、将来の舟運を含むマルチモーダルシフトなど国の国土政策、時代の要請にも適っています。コスト負担が一見大きく思われるかもしれませんが、決してそうではありません。むしろリターンが見込まれ、運用次第で投資効果が十分に期待できることは売上げ 4 割増加を成し遂げたミュンヘンのモールやサン・アントニオ等の成功事例が既に証明しています。

中心部への流動客数からみるように、この 10 余年で半減以上の激しい衰退の流れを変えるには従来型の開発像からの大胆な発想の転換が求められています。

私たちは、駅前を市民みんなの財産として活かし、まちづくりをするために委員の皆様と公平な立場で議論をする必要を強く感じています。よって、貴職には、下記に示す情報の開示と説明責任を果たしていただきますようお願い申し上げます。

記

1. 業務委託契約の特記仕様書の条件 1 によります、3 案および条件 2 の地上から可能な限り見える地下展示場以外の案の提出を指示されておられます。第 3 回懇談会までに契約 履行を果たし、案の提出をしていただきますようお願いいたします。
2. 地下送迎場と石垣との関係がわかる地下送迎場の 1 案と 2 案の断面図をお示し下さい。
3. 懇談会では、時間の関係で各委員の皆様には全資料 6 枚のうち 3 枚しか配布しておりません。専門委員会までに残りの 3 枚を加えた完全な資料でご判断いただけるよう、残りの 3 枚を加えて頂けるようお願いいたします。
4. 先日開示された 10 月 6 日の文化庁との協議議事録に記載されています、文化庁の大手門橋台地に関する指示を専門会委員、懇談会委員の皆様にも明示し、地下送迎場両案の平面図及び 2 項で求める断面図上に大手門の橋台地の正確な位置と断面をともに記載し、専門委員会、懇談会に資料として配付の上、事前説明の徹底をよろしくお願いいたします。

以上